

2021年2月8日

救急搬送データを用いた急性大動脈解離の解明に関する研究の実施について

国立循環器病研究センター 循環器病統合情報センターでは、「救急搬送データを用いた急性大動脈解離の解明に関する研究」を行っています。この研究は、宮崎県立延岡病院で急性大動脈解離といった病気をもったかたのカルテや医療費からの情報から得られたデータの解析を行う研究です。この案内をお読みにになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に情報を使ってほしくないとお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】宮崎県立延岡病院で、2015年1月～2018年12月の間に、急性大動脈解離で治療・ケアを受けた方

【研究課題名】救急搬送データを用いた急性大動脈解離の解明に関する研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター OIC 循環器病統合情報センター センター長 宮本恵宏

【研究の目的】急性大動脈解離の各分類別や年齢別における死亡率・発症率、搬送時間・病院到着から手術開始までの時間・CTなどの頻度、医療費を求め、日本全体でのこれら統計値の推測を行う。

【研究の方法】

この研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、国立循環器病研究センター倫理委員会の承認のもとに実施されます。研究対象者のかたのうち、宮崎県立延岡病院が保有するカルテ情報や医療費関連情報から、心不全の有無及び重症度、急性冠症候群の有無及び重症度に関わる情報と、基本的な診療情報（性別、年齢、診療日、搬送日、入院日、退院日等）、身体所見（身長、体重、腹囲、血圧、血液検査結果、服薬歴、レントゲン結果、併発疾患、家族病歴等）、その他の情報（診断名、治療方法、手技、薬剤等）を利用いたします。

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、個人が特定できないような形で使用いたします。具体的には、データは匿名化処理が施され、匿名化処理済みデータを解析し、研究結果は個人が特定できない集団の値といった形式で学会や学術雑誌等にて発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと研究終了後10年間保存されます。ご不明な点があれば、下記までお尋ねください。

【研究期間】研究許可日～2023年3月31日

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受

けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター
公式サイト（<http://www.ncvc.go.jp>）の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

[問い合わせ先]

国立循環器病研究センター OIC 循環器病統合情報センター
センター長 宮本恵宏 （研究責任者）

住所：大阪府吹田市岸部新町 6 番 1 号 電話：06-6170-1070（代表）

宮崎県立延岡病院 心臓血管外科 松山正和

住所：宮崎県延岡市新小路 2-1-1 電話：0982-32-6181（代表）